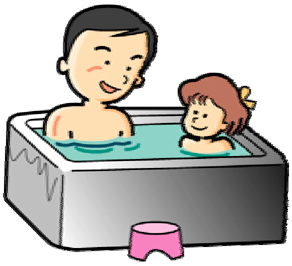


お風呂の衛生管理大丈夫ですか？

平成１９年９月２６日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)

感染症発生動向速報

（平成１９年第３８週分・９月１７日～９月２３日）

《 インフォメーション 》

●レジオネラ症について

先週､高岡厚生センターからレジオネラ症の報告が１件ありました。県内では、今年に入ってからこれまでに９件報告されています。患者は全て男性で、年齢は 40～80 歳代（平均 65.1 歳）と高齢者の報告が多い傾向にあります。病型については全て肺炎型で、全て尿中レジオネラ抗原の検出で診断されています。

レジオネラ症報告状況
(平成16年～現在)

診断年	全国	富山県
H16	161人	2人
H17	281人	12人
H18	508人	22人
H19	401人	9人

全国､富山県ともに患者報告は年々増加傾向にあります(右表参照)。その大きな理由として､平成 15 年に尿中レジオネラ抗原検査が保険適用されたことが考えられます。医療機関で検査キットの使用機会が増えたため診断率が向上したと思われます。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌の吸入や誤嚥により起こる感染症です。臨床症状から､「ポンティアック熱」と「肺炎型」に分けられますが、前者は比較的軽症で経過するのに対して、後者は重症化します。肺炎型の症状は、高熱、咳、頭痛などの症状に始まり、呼吸困難へと進行し、稀に死亡する場合があります。糖尿病や慢性呼吸器疾患、大酒家、重喫煙者など、発症に関連する危険因子がいくつか知られていますが、特に基礎疾患のない人でも発症します。

レジオネラ属菌は、土壌などに生息していますが、自然界では弱い存在です。しかし、アメーバの中ではよく増殖します。冷却塔、循環式浴槽や噴水などではアメーバが発育しやすい環境になりやすく、同時に、レジオネラ属菌もよく増えます。

レジオネラ対策は、主に循環式浴槽の衛生管理を徹底することです。**温泉や公衆浴場、スポーツ施設等で入浴設備がある施設の管理者は、施設の衛生管理に気をつけましょう**。また、**家庭で 24 時間風呂を使用する際は、設備の管理を必ず取扱説明書に従って行いましょう**。

《 全数報告の感染症 》

２類感染症　結核の報告が４件（第 37 週診断分２件含む）ありました。
３類感染症　腸管出血性大腸菌感染症（O157）の報告が３件ありました。

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位６疾患

順位	疾病名	定点あたりの数 今週	定点あたりの数 先週	増減
１位	感染性胃腸炎	4.21	4.93	↓
２位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	1.17	↓
３位	突発性発しん	0.72	0.90	↓
３位	ヘルパンギーナ	0.72	0.59	↑
５位	流行性角結膜炎	0.57	0.57	→
６位	咽頭結膜熱	0.48	0.48	→

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/
E-mail　kansen@pref.toyama.lg.jp